

新庁舎設計に関するこどもワークショップ



8月2日(木)、市役所東飯庁舎議場で「新庁舎設計に関するこどもワークショップ」が開催されました。

当日は、市内12の中学校から2人ずつが参加し、合計24人が4グループに分かれ、「訪れるのが楽しい、ワクワクする市役所をつくろう!」をテーマに、夢やビジョンをグループで

話し合い、最後に各グループごとに発表しました。

このワークショップでは、福澤宗道さん(足利工業大学名誉教授)に、コーディネーター役をお願いし、運営の協力をしていただきました。



ワークショップ終了後は、市長を囲んで懇談が行われ、中学生から市長へ感想や意見が交わされました。

なお、このワークショップの報告書は市ホームページの「新庁舎建設事業」のページでご覧いただけます。



Town Topics まちの話題

南部学校給食センターが完成

8月1日(水)、南部学校給食センターの落成式が行われました。

同センターは既存の給食センターの老朽化を受け、大橋町の市民会館跡地に建設され、最大5,500食の給食を提供することができます。汚染防止のための最新設備やアレルギー対応食を調理する特別食調理室が整備されているほか、2階のラウンジからは調理作業・食器洗浄作業が見学でき、「食育」の拠点施設としても活用が期待されます。

8月31日から、小学校8校・中学校5校へ「さのまる」を絵柄にした新たな食器を使い、給食の提供を始めています。



第20回さの秀郷まつりが開催されました

第20回を迎える今回は、11年ぶりとなる前夜祭が開催されました。

8月10日(金)の前夜祭では、市内の子どもたちやさのまるなどのキャラクター、また佐野女子・佐野東高校の生徒や、佐野ブランド姫・増田麻美さんら5人の2012年度・ミス日本によるファッションショーが行われたほか、佐野ブランド大使・ダイヤモンド☆ユカイさんによる、カバーアルバム「Respect」発売を記念したアコースティックライブが開催されました。会場を訪れた皆さんは、ショー出演者の艶やかな姿や、ユカイさんの歌声に魅了されました。



まつり初日となった11日(土)には、「秀郷流流鏑馬」・「市民総おどり」・「さのまるテーマソング発表会」などが開催されました。さのまるのテーマソングは、ユカイさんが作詞・作曲を手掛けたもので、ユカイさん自らの歌声でこの日初めて披露されました。「さのまる音頭で さーの♪さの♪」と聴いた誰もが歌い・踊りたくなるような、楽しい曲が完成しました。

12日(日)には、みこし・おはやしの巡行が行われ、10基のみこしと4基のおはやしが勇壮な掛け声や賑やかな音楽とともに佐野駅周辺を練りまわりました。

このほか、メインステージでは各団体・グループにより演奏や踊り・演武などが2日間をとおして披露されたほか、駅前ステージでもバンド演奏などが披露されました。また、駅前交流広場では「なかよしプレイランド」が設けられ、ベゴマ大会が開催されるなど、前夜祭を含め3日間、大勢の人が訪れ、お祭りを楽しみました。



注目

健康福祉

募集

催し物

お知らせ

講座

話題

▶ 広報さのでは毎月、講座情報などをさまざまな情報を掲載しています



伴侶が天空に旅立って、途方に暮れていたころ、広報さのに福祉住環境コーディネーター検定試験のことが掲載されていました。

私事ですが、夫は8年間病んで、うち4年間は半身不随でベッドの上での生活でしたが、介護保険制度のおかげで、訪問介護や入浴、福祉用具の貸出サービスを利用させていただき、快適に過ごしていました。

高齢者や障がい者がその人らしい生活ができるよう生活の質 (Quality of life) の向上に、住環境整備は必要不可欠なことだと実感していた私は、この記事を見て、検定試験に奮起することにしました。

試験の勉強は、年老いた脳には、年号や横文字がインプットされず、難儀しましたが、老いていく私自身にとっても、とても有意義な内容のテキストだったので、こうした勉強をするチャンスに出会えたのは本当に良かったと思います。

午前と午後の2時間。人生初めてのマークシート。充実した勉強の日々と試験の一日でした。

一念発起して挑戦した試験は私にとって、本当に有意義なものでした。

広報さのにはさまざまな情報が掲載されています。皆さんも何か参加されてみてはいかがでしょうか？ きっとためになりますよ！ (市民記者 H・T)



8月11日(土)、一般国道293号の新会沢トンネルの開通式・通り初め式がとり行われ、同日午後2時から開通となりました。

佐野市と栃木市との境にある一般国道293号会沢トンネルは昭和43年から供用が開始されましたが、道幅が狭く、歩道が整備されていないことで、円滑・安全な交通に支障をきたしている状況にありました。このため現在のトンネルを一車線に変更し、新たなトンネルとの上下線それぞれ一車線とすることで、円滑な交通と安全性の向上を図り、整備が進められていました。

開通式・通り初め式のこの日は、関係する佐野市・栃木市の関係者、工事関係者、地元自治会の皆さんが出席し、工事の完成のお祝いと今後の安全を祈念しました。

この工事の完成により、国道293号は佐野市から栃木市方面に向かう際には従来の会沢トンネルを、栃木市から佐野市方面に向かう際には新会沢トンネルを通る一車線のトンネルになりました。通行される際にはお間違いのないよう、お気を付けください。

佐野市 ばんでい

鳴き声が 生き物の名前になった

● 梟ふくろうの方言

梟は目が丸くて大きく、昼間は林の繁みや木の洞穴でじっと休んでいます。夜行性なので、夜に活動し、野ネズミなどを捕らえて食べています。鳴き声は独特で一般には「ゴロスケホーホー」と鳴くといわれていますが、方言ではこの「ホーホー」が「ホッコー」となり、ホッコードリといっています。

● 油蟬あぶらせみの方言

油蟬は体が全体的に黒っぽく、羽は不透明で褐色、夏の暑い日には樹の上で「ジージー」と高い声を出して鳴きます。この鳴声から、油蟬を「ジージーゼミ」というようになりました。

● 蛸ひぐらしの方言

夏から秋にかけて、夕暮れどきに鳴く蛸の声が「かなかな」と聞こえたことから、共通語で別名を「かなかな」とも言います。鳴き声が「カニヤカニヤ」と高くて美しく聞こえたので、方言で蛸をカニヤカニヤとか、カニヤカニヤゼミというようになりしました。

● 水鶏みづいねの方言

一般に水鶏と言っていますが、実際には緋水鶏ひづいねのことを言います。夏の渡り鳥で、沼や沢の草地にかくれています。胸は赤褐色、脚は赤くて長く動作は敏捷です。早朝、または夜間には「コンコン」、または「キョ キョ(キョッ キョッ)」と鳴きますが、その鳴き声がカンカンとも聞こえたことから、方言ではカンカンドリといい、昭和の初め頃まで使われていました。(市民記者 森下喜二)